

## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 介護保険事業について

- (1) 第5期計画各事業の執行状況はどうか。
- (2) 今年4月に介護保険制度が改正され、地域密着型のサービスが盛り込まれたが状況はどうか。
- (3) 今後ますます増加する高齢者をいつまでも元気に生活ができるようにするには、どんな施策があるのか。

### 2 水道事業について

- (1) 水道本管の老朽管の耐震化はどこまで進んだのか。
- (2) 工事において総合評価方式による入札はしないのか。
- (3) 職員に上下水道事業に係る有資格者は何人いるのか。
- (4) 水道事業については、今後どのような計画をもっているのか。

### 3 職員教育について

- (1) 若い職員への技術・経験をどのように継承しているのか。
- (2) 研修会は全職員を対象にどれくらい実施しているのか。



## 原 明 議員（一般質問）

### 1 人口増加への取り組みについて

- (1) 人口増加対策に取り組んでいるか。その内容は。
- (2) 出会いの創出を図る婚活支援セミナーの開催をしてはどうか。

### 2 観光の振興について

- (1) いきいき富山館での滑川市のPR、物産展の成果は。
- (2) 今後の取り組みについて

### 3 農業振興について

- (1) 人、農地プラン作成の進捗状況は。
- (2) 人、農地プランにより耕作放棄地が農地としてよみがえるのか。
- (3) 滑川産うるち米の一等米比率の大幅ダウンの要因と対策は。
- (4) 滑川産野菜の消費拡大について
  - ア 学級給食への野菜の供給と使用品目について
  - イ 滑川市野菜の作付状況について



## 前田 新作 議員（一般質問）

### 1 平成 25 年度予算編成にあたって

- (1) 市制施行 60 周年記念事業をどのように考えているのか。
- (2) 新年度の目玉事業はあるのか。あれば何なのか。
- (3) 耐震化未着工の公共施設の耐震化は、今後どう予定されているのか。

### 2 市民交流プラザの利活用について

- (1) 福祉介護課が本庁舎に移転されるが、福祉の拠点ではなかったのか。
- (2) 高齢者福祉・障がい者福祉は、社会福祉協議会やホームヘルパーステーション、訪問看護ステーションとの連携が必要と思うが。

### 3 JR 東滑川駅の整備等について

- (1) こ線橋の設置要望を、JR に対してどのようにしていくのか。
- (2) 駅の施設全体（駅舎入口、プラットホームなど）をバリアフリー化（スロープ、エレベーターなどの設置等）にすべきではないか。
- (3) 屋根付駐輪場を増設されたい。

### 4 海岸の整備について

- (1) 荒俣から三ヶまでの海岸の整備はどうなるのか。（常盤町海岸終了後、整備されると聞いていたが）
- (2) 海岸線に松を植林してはどうか。（国の海岸防災林造成事業あり）市長と語る会に要望が出ていた事も含めて。



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 海洋高校の跡地利用について

- (1) 特別教室の耐震や武道館の解体、地盤の補強工事などの経費として応分の予算が組まれているが、滑川市の読みが甘かったのではないか。
- (2) 特別教室の耐震は県に責任をもってやってもらえないのか。
- (3) このような問題が発生した時のために、県との契約書に盛り込まれる文言はないか。
- (4) 今後、どのような費用負担があると予想しているか。
- (5) 海洋高校の跡地利用の市費はどのくらい投じるのか。またその内容は。

### 2 下水道について

- (1) 現在の下水道敷設率は計画の何%か。
- (2) 市内の整備が虫食いのようになっているのではないか。
- (3) 町内の一部だけ、未整備箇所がある地区の解決策をどのように考えているのか。（計画、予算などを伝え、地元と意見交換をしているか）
- (4) 面的整備のため市管理の合併浄化槽群としての対応はできないのか。
- (5) 下水道事業に、今まで市の単独費はどのくらい使ったか、また使う予定か。
- (6) 100年の計をもって温かい下水道行政のために特命担当が配置されているが、その効果と下水道加入率の促進状況は。

### 3 施設インフラの維持管理について

- ・ 山梨県・笹子トンネル内で起きた天井崩落事故や小矢部市内の国道8号トンネル内で照明柱の落下が報道されているが、滑川市の道路やトン

ネルの定期検査は行っているか。



## 岩城 晶巳 議員（一般質問）

### 1 新幹線開業に伴う諸問題について

- (1) 関西方面への移動は大変不便になるが、解消される見込みはあるのか。
- (2) 解消されないとすれば、関西方面や中京方面には航空便という手段を考えねばならないのではないか。
- (3) JR西日本は開業までに「10億円かけて在来線のバリアフリー化・プラットホームの嵩上げなど、駅の整備を行う」とのことだが、滑川駅・東滑川駅は対象になっているのか。
- (4) 東滑川駅のご線橋新設要望が地元町内会から出ている。また屋根付き駐輪場の増設問題、プラットホームに待合場設置など課題は多い。新幹線開通までに、一つでも要望に応じてもらいたいが、所見を問う。
- (5) 東滑川駅については、山側からの入場口を設置することで、これらの課題がある程度緩和されると思うが、見解を問う。

### 2 新川育成牧場の脱退問題について

- (1) 平成22年に脱退表明をして以降、何ら進展がみられない。聞くところによると「問題が大きすぎて暗礁にのっている」とのことだが、脱退により、滑川市にはどんな問題が生ずるのか。
- (2) 新川育成牧場が解散するとなると、負債の処理、借地の返還などの問題があると聞くが、間違いはないか。
- (3) 滑川市の対応を、これからどう考えているのか。

### 3 養鶏場建設問題について

- (1) 平成24年11月12日付けで「養鶏場着工のお知らせ」の案内書が魚津市松倉地区の自治会長宅に届いたとのことであるが、なかなか着工できないのは、鳥インフルエンザ発生時の処分場が確保できないのではないかという推測もあったが、我々の願いを打ち破る通告である。鳥インフル

エンザの処分方法は、「焼却処分で行う」とのことであるが、問題はないのか。

- (2) まずは土地の造成工事からと思うが、造成工事・建設工事・操業の日程などは把握しているのか。
- (3) これからの市としての対応は。

## 水野 達夫 議員（一般質問）

### 1 市街地浸水区域の今後の対応について

- (1) 9月11日の豪雨によって浸水した区域に対し、「改修などの必要な対策を講じていく」との提案理由説明であったが、その具体策は何か。
- (2) 特に沖田川水系について、上流部の開発が著しく進んでいる。8号バイパスの4車線化や待避所整備により雨水排水がどの程度増加するのか。
- (3) 上流部から流入してくる雨水を、浸水区域手前で一時的に貯留しておく施設が必要だと思うがいかがか。
- (4) 沖田川放水路の一日も早い完成はもちろん重要だが、放水路分岐点から上流側の整備計画はどうなるのか。
- (5) 都市下水路沖田川の整備が、昭和39年で完成として整理されているが、今の時代に空石積の水路で完成か。

### 2 公共施設の整備について

- (1) 今定例会において、市庁舎・市民会館の耐震補強工事等の実施にあたり、公共施設整備基金の一部取り崩しをしているが現時点での残高はいくらか。
- (2) 緊急防災・減災事業を活用し、公共施設の整備を行っているが、事業債の借上げ総額はいくらになるのか。
- (3) 今後、公共施設（特に耐震診断実施中の建物）の、整備スケジュールはどうなるのか。
- (4) 今後、公共施設整備基金等のさらなる上積みが必要だと思うがいかがか。
- (5) 事業債の償還時期がピークを迎える頃の、財政状況はどうなるのか。

### 3 並行在来線におけるJRからの支

## 援について

- (1) 11月21日に行われた、石井県知事とJR西日本の真鍋社長との会談において、今後のJRからの主な協力・支援の中に「鉄道施設等については、通常の修繕に加え、開業までに10億円規模で修繕」とあるが、その具体的な内容は何か。
- (2) 河川に架かる、JRの橋梁の長寿命化はどうなっているのか。この際、長寿命化を図った後に、JRから移管してもらうべきでないか。

## 高木 悦子 議員（一般質問）

### 1 新幹線開通後の観光対応整備を

- (1) 滑川市観光協会の独立から8ヶ月が経過したが、その間の事業内容や成果をどう評価しているか。
- (2) 現在、旅行のスタイルが団体旅行から個人旅行へとシフトし、新幹線の開通によって北陸地方全体として、個人観光客の入り込みが期待されるが、滑川市観光協会は、個人観光客への情報提供を十分に行っているか。
- (3) 滑川商工会議所並びに会員企業と観光協会との連携が見受けられない。滑川市の観光のポータルサイトとして、取り組みが不十分ではないか。
- (4) 新川地域や富山市などとの観光に関する連携抜きで、滑川市単独での観光というものはないと考えるが、広域観光の取り組み、連携状況はどうなっているか。

### 2 教育現場からSOSが聞こえている

- (1) 一部の保護者の方から、学校の状態に「大変不安を抱いている。」という声が聞かれる。教育委員会として、教育現場の実態把握は、どのようにされているのか。
- (2) 「からかい」は「いじめ」の入り口。教師個人による対応ではなく、学校全体で早期発見、早期対応の研究とマニュアル整備が必要ではないか。
- (3) 「親としての学び」と「親になるための学び」の二つの意味を持った「親学」の必要性が叫ばれているように、保護者へのアプローチが必要な状況にある。市P連でも研修会をされているが、「来て欲しい親には来てもらえない。」という嘆きが聞かれる。従来の個別面談の枠を超えた保護者との面談が必要ではないか。
- (4) 今の親は今の親。今の子供は今の子供であり、「昔はこうだった。」という話をしても、結果は出せない。学校の現場では、児童・生徒だけで

はなく、家庭を含めた新しい対応が必要とされている。教育は日本の未来である。ルーティンワークではない、取り組みをして欲しいがどうか。

### 3 トンネル崩落事故を受けて市内道路の危険箇所の点検整備状況は

- (1) 滑川市内のトンネルについて、点検・補修の状況はどうなっているか。
- (2) 滑川市内の2メートル以上の297橋について今年度、橋梁点検がされることになっているが、老朽化という観点から、建築から30年超の橋梁の割合、50年超の橋梁の割合は把握しているか。また、橋梁点検の途中経過など、報告できることはあるか。
- (3) 橋梁の長寿命化修繕計画策定率は、全国平均で51%、富山県平均で41%とされているが、滑川市では橋梁の長寿命化修繕計画策定は「平成25年度中に行う」とされている。平成24年度時点で滑川市の長寿命化修繕計画の策定率はどうか。
- (4) 富山県内の各自治体の長寿命化修繕の実施状況は、平成24年4月現在でわずか0.5%に留まっている。平成25年度に修繕計画を策定するにあたって、危険箇所排除に向けて、積極的に進めていこうという考えはあるか。

## 石倉 正樹 議員（一般質問）

### ・ 滑川市の地籍調査について問う

- (1) 滑川市の調査状況は、どの程度進んでいるのか。
- (2) 今は休止中か、実施中か、再開を検討中か。
- (3) 調査の必要性を、どのように考えているか。
- (4) 調査のメリット・デメリットは。
- (5) 県や国からの働きかけはあるのか。
- (6) 調査費用が発生するが、概算でどの程度か。
- (7) 国、県、市からの助成制度はあるのか。
- (8) 市としての今後の取り組みと、方向性は。
- (9) 実施するとすれば、事前調査と地主の承諾が必要となるが、市で行えるのか。
- (10) 事前調査にも費用がかかると思われる。地籍調査の促進を図る意味から、費用助成を考えてはどうか。
- (11) まちづくりにはかかせない調査であり、災害に強いまちづくりの観点からも、早急に着手されるべきと思うが、見解を求める。





## 古沢 利之 議員（一般質問）

### 1 学校施設の非構造部材の耐震対策について

- ・ 9月定例会での質問に対して、調査し報告するとの事であった。
  - ア 調査を行ったか。結果はどうであったか。
  - イ 新たな対策は必要ないか。

### 2 就学援助について

- (1) 就学援助制度の周知について
- (2) 援助項目の拡大について
  - ・ クラブ活動費、PTA会費、生徒会費を対象に

### 3 視覚障害者への地デジ対応について

- ・ 地デジ移行により、FMラジオでテレビ音声を聞くことができなくなった。視覚障害者の多くはテレビ音声で情報を得ていた。地デジ対応ラジオも発売されているが、高価である。視覚障害者へ地デジ対応ラジオの給付を検討されたい。



## 野末 利夫 議員（一般質問）

### 1 低炭素社会と資源確保について

- (1) リース方式による公共施設へのLED照明の導入について問う。
- (2) 「小型家電リサイクル法」の成立を受けて、レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みを問う。

### 2 福祉施策について

- ・ 介護保険制度の改善の一環として、福祉用具購入費及び住宅改修費の受領委任払い制度の導入をしてはどうか。

### 3 学校施設における老朽化対策について

- (1) 劣化診断等の現状把握は。
- (2) 長寿命化のための中長期的計画策定、並びに推進体制の整備は。



## 中島 勲 議員（一般質問）

### 1 都市基盤の整備について（洪水対策は万全か）

- (1) 住民の安全・安心の確保は、行政が最優先に取り組むべき課題と思うが、洪水に対する当局の認識に問題があったのではないか。
- (2) 洪水ハザードマップは、現状と大きくずれているのではないか。
- (3) 平成20年7月8日と今回（9月11日）とでの浸水範囲が変化しているが、把握しているか。把握しているとすれば、何が原因と考えられるか。
- (4) 「被害地域の総点検を行い、さらに必要な対策を講じていく」とあるが、具体的にどのような点検をしたのか。そしてその対策は。
- (5) 被害を抜本的に解消するには、沖田川放水路の完成とあるが、見通しが甘いのではないか。

### 2 市民交流プラザのあり方について

- (1) 総額で約21億円をかけたまちづくり交付金事業の中核をなし、そのことにより市街地の活性化を図る提案事業として建設された市民交流プラザをどのように評価しているのか。
- (2) 少子高齢化時代を迎え、今後ますます質・量双方で福祉ニーズが高まっていくと思われるが、今後とも福祉の拠点として位置づけていくべきと思うが見解を問う。
- (3) 文化・スポーツ振興財団の充実を図るために、再任用した職員を配置したのは何だったのか。
- (4) 指定管理について
  - ア 選考委員会のメンバー、審議、議事録は。
  - イ 民間の発想とは、具体的に何が考えられるのか。
  - ウ 株式会社ホクタテを採用した大きな要素は何か。
  - エ 決算特別委員会から改善を求められている公共施設のあり方と指定管理の検証は、表裏一体と考えられるが見解を問う。



## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 みのお温泉村の利活用について

- (1) みのお温泉（ファミリーハウス）、テニスコート、グリーンハウスの利用状況、並びに収支の現状についての見解は。
- (2) みのお温泉（ファミリーハウス）の利活用について  
（例えば、定期的な素人演芸会等のイベント企画等）
- (3) テニスコートの利活用について  
（例えば、全天候で年間を通して利用できるよう屋根付きに、並びにフットサル場への変更等）
- (4) グリーンハウスの利活用について  
（例えば、リフォームによって、合宿場への転換等）
- (5) テニスあるいはフットサルを楽しみ、温泉で癒し、宿泊することでくつろぎ等、総合的施設としての連携による利活用の見解について
- (6) 決算特別委員会での、改善を求める指摘事項についての見解は。  
（利活用計画の策定について）
- (7) 他の不採算市有施設、補助施設の現状と利活用改善策について

### 2 不法投棄、防犯対策について

- (1) 中山間地域の空き巣、窃盗等の犯罪、並びに不法投棄の現状について
- (2) 不法投棄パトロール、並びに防犯パトロールの現状について
- (3) 中山間地域の不法投棄、防犯の具体的な対策について  
（例えば、防犯カメラの設置等）

